

まちの中の いい話

男女共同参画推進部が誕生したきっかけを教えてください。

高橋さん 地域の行事になかなか人が集まらず、特に女性の参加者が少なかつたため、何とか地域を盛り上げていきたいという思いから、市の男女共同参画推進員をされている富手さんに声を掛けました。

富手さん 高橋さんの「自治会組織に男女共同参画推進部をつくるぞ」という一声が誕生になりました。

男女共同参画推進部では、どのように取り組んでいますか。

富手さん 昨年10月、地域の女性が講師を務めた「男の料理教

いい説
昨年の4月から男女共同参画推進部を設けている上湯本台一行政区自治会。自治会長の高橋勲さんと男女共同参画推進部長の富手京子さんに、その活動についてお話を聞きました。

わたしたちが病気やけがなどをしたとき、病院や診療所でお世話になる看護師さん。看護師といえば、以前は女性の職業という意識が強かったのではないでしようか。その意識も少しずつ変化し、今では男性の姿も見受けられるようになっています。

今回は、看護師を目指して勉強中の看護専門学校生にお話を聞きました。



Weは英語で「わたしたち」という意味。男女共同参画を「わたしたちみんなで考え、みんなで進めていきたい」と願って名付けました。

看護師への道を 一歩ずつ歩み

一歩ずつ

「室」でそば打ちを行い、22人の参加者で会場がいっぱいになりました。アットホームな雰囲気の中、「おいしいそばを打つて家族に振る舞つてみたい」という声も聞かれ、皆さんにはとても好評でした。

高橋さん そば打ち 자체はさまざまな地域で行われていますが、男女共同参画推進部が主催することで、まずは地域の皆さんに男女共同参画に触れてもらいたいという狙いがありました。最初から男女共同参画の理念を押し出



自治会の活動について語る自治会長の高橋勲さん(写真右)と男女共同参画推進部長の富手京子さん(写真左)

幼いころの経験から「救急医療がもっと発達していたら、より多くの命が救えたのではないか」という思いを抱くようになつた照井大地さん。「人が亡くなつて悲しみの涙を流すよりも、命が助かってよかつたと喜びの涙を流せる仕事がしたい」と看護師の道を選び、花巻高等看護専門学校に入学しました。「患者さんがどのような医療を望んでいるのか、常に考えられる看護師になりたいです」と熱っぽく話してくれました。

「中学や高校よりも、看護学生としての今が一番充実しています。出会う人みんなが自分を成長させてくれるので、いつも学ぶ意識を持つて皆さんと接しています。大変なときもありますが、心が折れてしまわ

花巻高等看護専門学校3年
生の照井大地さん

ないよう自分に信念を持ちなが
らも、その信念を人に押し付けすぎ
ないように柔軟な姿勢でいたいで
すね。看護実習では、女性の患者さ
んとのコミュニケーションが取り
にくかったという体験もしました
が、「これも自分を成長させてくれ
る良い機会」と前向きに考えて実習
に取り組みました。

現在、看護師の国家試験合格を目
指して頑張っている照井さん。

「お見習いをいたしました。」と、看護師が頭を下げる。その一方わたしらは、頭の中では男性の看護師を理解しつつも、実際に患者として対面したとき、戸惑いを感じことがあるかもしれません。しかし、お互いの立場を認めることで、より相手のことを受け入れることができるのではないでしょうか。患者と看護師のようなそれぞれの立場で、お互いを尊重し認め合うために、職業に対する固定的な性別の意識を見つめ直してみましょ。

「お見習いをいたしました。」と、看護師が頭を下げる。その一方わたしらは、頭の中では男性の看護師を理解しつつも、実際に患者として対面したとき、戸惑いを感じことがあるかもしれません。しかし、お互いの立場を認めることで、より相手のことを受け入れることができるのではないでしょうか。患者と看護師のようなそれらの立場で、お互いが看護の道に進むことを期待しています。

A color photograph of a man with dark hair and a slight beard, wearing a white long-sleeved lab coat over a light-colored shirt. He is holding a newborn baby wrapped in a yellow patterned blanket. They are in a hospital room; the man is standing in front of a clear plastic bassinet. In the background, there is a large wooden shelving unit filled with various medical supplies, bottles, and boxes. To the left, a window with light green curtains is visible. The lighting is warm and indoor.

看護実習室で新生児の人形を抱く照井さん。
毎日が勉強です

職業・性別

固定化したイメージを見つめ直してみませんか

看護師＝女性というイメージが少しずつ変わり、照井さんのように看護師を志す男性も見受けられるようになりました。花巻高等看護専門学校校長の大島俊克さんは、「本校でもここ数年は毎年5～6人の男子学生が入学しています。今後、日本はかつてどの国も経

することはせずは気軽に参加できるような行事を企画しています。今後の活動について教えてください。

高橋さん 月2回全戸に配布している「自治会だより」に「みんなでともに参画する地域づくり」を掲げています。男女共同参画も地域づくりの一環としてとらえ、地域の皆さんに男女共同参画の意識を持つていただけるよう、情報を提供していきます。また、参加者が「楽しかった」と感じ、次回も自然に参加していただけるような企画を考えておきたいです。

A group of four men are gathered around a large stainless steel pot on a stove. One man in a white chef's coat is stirring the contents of the pot with a wooden spoon. Another man is holding a metal strainer over the pot. The other two men are standing behind them, observing the process. The scene suggests a traditional cooking demonstration or a family meal preparation.

A photograph showing four women in bright yellow shirts standing behind a long table in a room. They appear to be staff or volunteers at an event. The woman on the far left is holding a red folder. A sign on the table in front of them reads "入場受付" (Entry Reception). In the background, there are large windows, a green exit sign, and other people in the room.

「花巻市男女共同参画 推進員」とは

とは、地域に男女共同参画を広めるため、市が活動をお願いしている19人の皆さんです。推進員は、地域での男女共同参画に関する活動や学習のサポート、市が開催するフォーラムやセミナーなどのスタッフとして、男女共同参画の各種事業に取り組んでいます。

■ 編集サポート（敬称略）
小原康子、菅原重子、高橋奏恵、
藤根悦子、藤本眞津子、吉田幹子
■ 問い合せ
本庁市民協働・男女参画推進課
(☎24-21111内線420)